

プログラム

◆8月3日(日) 2日目: 第1会場(国際会議室 3階)

特別講演

(11:00~12:00)

座長: 一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長 藤垣 哲彦

認知症の根本治療を求めて

大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経科学

○森 啓

◆8月2日(土) 1日目: 第1会場(国際会議室 3階)

基調講演

(10:00~10:30)

座長: 明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

2025 あるべき薬局・薬剤師の役割

一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長

○藤垣 哲彦

◆8月2日(土) 1日目: 第1会場(国際会議室 3階)

教育講演1

(14:00~15:00)

座長: 神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長 橋田 亨

ES1 今後の新薬開発及び育薬の方向性について

厚生労働省 医薬食品局 審査管理課長

○森 和彦

◆8月3日(日) 2日目: 第1会場(国際会議室 3階)

教育講演2

(14:20~15:20)

座長: 明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

ES2 Evidence Based Medicine と臨床試験

京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター EBM 推進部

○上嶋 健治

◆8月2日(土) 1日目:第1会場(国際会議室 3階)

シンポジウム1

(10:30~12:30)

地域包括ケアを支える最適な薬物治療のあり方

オーガナイザー・座長兼シンポジスト:ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至
オーガナイザー兼座長:神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授、薬剤部長 平井みどり

S1-1 京都桂病院心臓血管センターにおけるチーム医療の現状と今後の展望

京都桂病院 心臓血管センター 内科
○溝渕 正寛

S1-2 地域につなげる病院薬剤師の処方支援

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 薬剤科¹⁾、同 心臓血管センター 内科²⁾
○野崎 歩¹⁾、堀内 望¹⁾、藪内 新平¹⁾、溝渕 正寛²⁾、小林 由佳¹⁾

S1-3 地域包括ケアの構築に向けて
地域薬剤師会の取り組み

カナリヤ薬局
○守島 繁昭

S1-4 地域包括ケアと薬剤師
～薬剤師のこれからを読み解く地域医療の潮流～

ファルメディコ株式会社
○狭間 研至

◆8月2日(土) 1日目:第1会場(国際会議室 3階)

シンポジウム2

(15:00~16:30)

がん薬物療法の最前線

オーガナイザー兼座長:神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授、薬剤部長 平井みどり
神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科 教授 南 博信

S2-1 抗悪性腫瘍薬開発における用量設定

国立がん研究センター研究所 TR 総合支援グループ 臨床薬理部門
○濱田 哲暢

S2-2 分子標的抗がん薬治療の個別化治療

神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科
○南 博信

S2-3 最新の治療を支える薬剤師の役割

神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部
○和田 敦

◆8月2日(土) 1日目:第2会場(401+402会議室 4階)

シンポジウム3

(15:00~16:30)

ファーマシスト・サイエンティストの育成を目指して

オーガナイザー兼座長:神戸薬科大学 薬学部 薬剤学研究室 教授 岩川 精吾
神戸朝日病院 薬剤部 薬剤部長 金 啓二

S3-1 患者本位の業務がもたらすアウトカムを可視化できる人材を育成するために

大阪薬科大学 臨床実践薬学研究室
○恩田 光子

S3-2 臨床における抗菌薬適正使用を目指した薬剤師主導の臨床研究

国立循環器病研究センター 薬剤部¹⁾、
Division of Clinical Pharmacology, Cincinnati Children's Hospital Medical Center, Cincinnati, OH, USA²⁾
○島本 裕子¹⁾、福田 剛史²⁾

S3-3 病院におけるファーマシスト・サイエンティスト育成の取り組みと課題

神戸学院大学 薬学部¹⁾、
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部²⁾
○池村 舞¹⁾、橋田 亨²⁾

S3-4 エビデンス情報を理解し、活用し、発信するための取り組み

神戸薬科大学 薬学臨床教育センター
○波多江 崇

◆8月3日(日) 2日目:第1会場(国際会議室 3階)

シンポジウム4

(9:30~10:50)

糖尿病薬物療法の適正化

~地域で糖尿病患者を支えるために~

オーガナイザー:医療法人稲門会 いわくら病院 薬剤部 薬剤部長、京都府薬剤師会 会長 川勝 一雄
座長:大阪警察病院 薬剤部長 山本 克己

S4 基調講演

糖尿病薬物治療の適正化
~地域で糖尿病患者を支えるために~

大阪警察病院 内科
○小杉 圭右

S4-1 生活習慣病療養サポートシステムを利用した保健薬局と糖尿病専門クリニックとの連携

祥漢堂薬局 新大阪店
○森本 定則

S4-2 入院を繰り返さないために
～インスリン自己注射への薬剤師の関わり～
医療法人育和会 育和会記念病院 薬剤部
○西谷 友紀

S4-3 大阪府豊能2次医療圏における糖尿病診療と地域連携のアンケート調査
天神赤壁薬局¹⁾、国立循環器病研究センター 糖尿病・代謝内科医長²⁾、大阪府池田保健所³⁾、
大阪府吹田市薬剤師会 会長⁴⁾、大阪府豊中市薬剤師会 会長⁵⁾、
大阪府箕面市薬剤師会 会長⁶⁾、大阪府池田市薬剤師会 会長⁷⁾
○西 洋壽¹⁾、岸本 一郎²⁾、飯沼 恵子³⁾、大森 洋子⁴⁾、芦田 康宏⁵⁾、藤本 年朗⁶⁾、
萩原 泰子⁷⁾

◆8月3日(日) 2日目：第1会場(国際会議室 3階)

シンポジウム5

(15:30~17:00)

臨床研究論文の批判的吟味の取り組みを進めよう

オーガナイザー兼座長：明治薬科大学 名誉教授

京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター EBM 推進部 教授

緒方 宏泰

上嶋 健治

S5-1 臨床研究論文の批判的吟味の取り組みを進めよう
～Academic detailing の流れ～
昭和薬科大学
○山本美智子

S5-2 臨床研究論文の批判的吟味の取り組みを進めよう
～大学薬学部における教育～
明治薬科大学 薬物治療学
○小川 竜一

S5-3 病院における取り組み
～東北大学病院におけるジャーナルクラブの取り組み～
東北大学病院 薬剤部
○中川 直人

S5-4 薬剤師による自主勉強会の取り組み
～薬物治療塾Dコースの紹介～
医療法人社団 青葉会 新座病院
○金井 紀仁

S5-5 日本アプライド・セラピューティクス学会「文献評価ワークショップ」の取り組み
日本調剤株式会社 教育情報部
○福岡 勝志

◆8月2日（土） 1日目：第1会場（国際会議室 3階）

ランチョンセミナー1

（12：45～13：45）

座長：神戸市立医療センター中央市民病院 森本 茂文

大腸がん化学療法 最新のトピックス

大阪大学大学院

○坂井 大介

共催：株式会社ヤクルト本社

◆8月2日（土） 1日目：第2会場（401 + 402 会議室 4階）

ランチョンセミナー2

（12：45～13：45）

座長：医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院 事務局長 兼 薬剤部長 甲斐 純子

医薬品安全性情報と今日の話題

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部長

○林 昌洋

共催：日医工株式会社

◆8月3日（日） 2日目：第1会場（国際会議室 3階）

ランチョンセミナー3

（12：15～13：15）

座長：神戸市立医療センター中央市民病院 院長補佐・薬剤部長 橋田 亨

抗がん薬の臨床薬理

慶應義塾大学医学部 臨床薬剤学 教授

○谷川原祐介

共催：大鵬薬品工業株式会社

◆8月3日(日) 2日目:第2会場(401+402会議室 4階)

ランチョンセミナー4

(12:15~13:15)

座長:神戸大学医学部附属病院 薬剤部 教授、薬剤部長 平井みどり

SGLT2阻害薬カナグリフロジンの創製
~パイオニアの挑戦~

田辺三菱製薬株式会社 信頼性保証本部メディカルアフェアーズ部
○荒川 健司

共催:田辺三菱製薬株式会社

◆8月2日(土) 1日目:第3会場(403会議室 4階)

臨床推論ワークショップ

(14:00~17:30)

オーガナイザー:OTC薬検討委員会
ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至

OTC薬、プライマリケアを対象とする
「薬剤師の臨床判断ワークショップ・体験版」
対象症候「頭痛」

◆8月2日(土) 1日目:第1会場(国際会議室 3階)

一般演題1

(17:00~17:40)

座長:東京医科大学病院 薬剤部長 明石 貴雄

O1-1 救命救急センターにおいて降圧薬中毒が疑われ被疑薬の血中濃度を測定した2症例

神戸学院大学 薬学部¹⁾、神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部²⁾、
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター³⁾

○安藤 基純¹⁾、中谷 伸二²⁾、有吉 孝一³⁾、北田 徳昭²⁾、森本 茂文²⁾、橋田 亨²⁾

O1-2 痛風・高尿酸血症治療薬にアルコール多飲が及ぼす危険性を示唆する一例

武蔵野赤十字病院 薬剤部¹⁾、武蔵野赤十字病院 救急救命科²⁾

○相原 史子¹⁾、蕪木 友則²⁾、須崎紳一郎²⁾

O1-3 血友病患者に対する集合型疾患教育「血友病教室」の試み

東京大学医科学研究所附属病院

○宮崎菜穂子、久保田 実、野口 恵、金川 潤也、広瀬 旬、中村 仁美、
鯉渕 智彦、竹谷 英之

O1-4 客観的な医薬品情報を提供するための情報評価活動
イストラデフィリンについての検討

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院 薬剤部¹⁾、
腎移植フォローセンター余丁町クリニック 薬剤部²⁾、越谷市立病院 薬剤科³⁾、
新座病院 薬剤科⁴⁾、医療法人 前橋北病院 薬局⁵⁾、明治薬科大学 名誉教授⁶⁾
○林 洋子¹⁾、堀内 淳子²⁾、中田 和弘³⁾、金井 紀仁⁴⁾、山岡 和幸⁵⁾、緒方 宏泰⁶⁾

◆8月2日(土) 1日目：第2会場(401 + 402 会議室 4階)

一般演題2

(17:00~17:40)

座長：神戸市立医療センター西市民病院 薬剤長 田中 詳二

O2-1 薬学部アドバンストコースとしてのフィジカルアセスメント演習

明治薬科大学 病態生理学
○石橋 賢一

O2-2 保険調剤薬局における問題抽出能力の向上の取り組み

薬局フォーリア 将監店
○山城 博和、松野 恒夫、大庭 英里、山津 優子、島 巧、曾布川美登理、
曾布川洋平

O2-3 当院における医薬品情報評価の向上に関する試みとその効果

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 薬剤科
○佐村 優、倉田 武徳、石井 淳一、腰岡 桜、青木 均文、内田 仁樹、
山本 隼也、山口 直子、小川 寿子、関根 寿一

O2-4 高度肥満患者においてバンコマイシン投与設計に難渋した一例

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部¹⁾、神戸学院大学 薬学部²⁾
○熊谷 美香¹⁾、池村 舞²⁾、中谷 伸二¹⁾、柏木 裕子¹⁾、北田 徳昭¹⁾、橋田 亨¹⁾

8月2日(土) 1日目：展示会場(レセプションホール 3階)

ポスター示説

(17:15~18:15)

P-1 北海道在住保険薬局薬剤師の在宅業務への意識に関する調査

北海道薬科大学 地域医療薬学分野¹⁾、北海道薬科大学 医薬情報解析分野²⁾
○柳本ひとみ¹⁾、梅田 純代²⁾、古田 精一¹⁾、黒澤菜穂子²⁾

P-2 日本医療機能評価機構ヒヤリ・ハット事例報告を用いた転倒転落事例の検討

神戸薬科大学 薬剤学研究室¹⁾、神戸薬科大学²⁾、市立川西病院 医療安全管理室³⁾
○藤原 伸也¹⁾、城越 亨¹⁾、細川 美香¹⁾、上田久美子¹⁾、岩川 精吾¹⁾、中江 裕子²⁾、
高尾 宜久³⁾

- P-3 **主な糖尿病治療薬の腎機能障害患者における用量調節の妥当性の評価**
明治薬科大学 名誉教授
○緒方 宏泰
- P-4 **救命救急センターにおいて汎用される注射薬の「配合変化確認シート」の活用と評価**
日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部
○坂神 宏、栃倉 尚広、佐々木祐樹、岩渕 聡、菊池 憲和、吉田 善一
- P-5 **薬剤師による点眼剤の服薬指導状況調査および点眼剤の患者向け説明文書の作成と評価**
立命館大学 薬学部¹⁾、神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部²⁾、
神戸市立医療センター中央市民病院 眼科³⁾
○谷原 明子¹⁾、藤原 歩²⁾、奥貞佳奈子²⁾、奥貞 智²⁾、西田 明弘³⁾、
北田 徳昭²⁾、角本 幹夫¹⁾、小池千恵子¹⁾、橋田 亨²⁾
- P-6 **7つの DPP-4 阻害薬の比較**
いわき明星大学 薬学部
○富岡 節子

8月2日(土) 1日目：第1会場(国際会議室 3階)

委員会活動報告

(16:30~17:00)

保険薬局委員会「地域薬局を中心とした患者登録制度の構築とそれを活用した前向きコホート研究への利用」の予備調査の現状と本調査研究への展望

座長：明治薬科大学 名誉教授 緒方 宏泰

地域薬局を中心とした長期患者登録システムの構築と前向きコホート研究への利用(第1報)

ミナミファーマシー¹⁾、保険薬局経営者連合会²⁾、
日本アプライド・セラピューティクス学会³⁾、明治薬科大学⁴⁾
○山田 真幸¹⁾、山村 真一²⁾、緒方 宏泰³⁾、赤沢 学⁴⁾